

3500xL 使用上の注意

【使用者登録について】

- ・共通機器室管理室の登録者名簿にご記入ください。
 - ・登録資格：①使用に熟練した方、②メーカー説明会を受講した方、③熟練者から指導を受けた方。
- ※使用方法の間違いによる故障については、所属する分野に修理費用を負担していただきますのでご注意ください。

【使用予約について】

- 1) 予約は利用日前日(休日を除く。土・日・月曜の予約は金曜)の午前中までに行ってください。予約の状況でポリマー充填やバッファ交換を先送りします。
- 2) 直前に予約を入れた場合は、管理室(内線 8165)に連絡してください。
- 3) 予期しない事態に対応できるよう、各予約の間は 30 分程度空けてください。
- 4) 予約に変更があった場合、直ちに予約を修正してください。

【使用方法について】

Applied Biosystems MicroAmp Optical
96-Well Reaction Plate : N8010560

1) サンプル

専用の 96 ウェルプレートを使用し、ウェルの中に気泡が無いことを確認してください。(気泡はプレート遠心機を使用して除去)

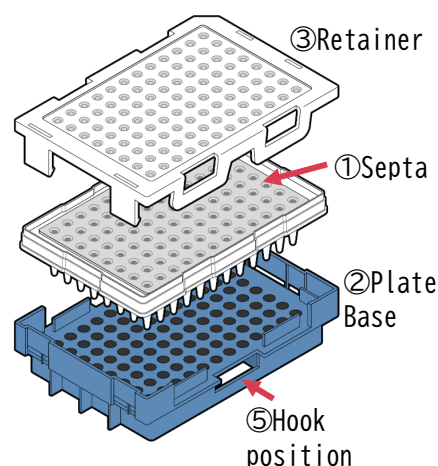
2) 空きウェル

1run は 24 サンプル(A1-H3、A4-H7 など)です。空きウェルにも 10 μ L 以上の溶媒を入れてください。キャピラリの詰りを防ぎます。

- ・Hi-Di ホルムアミドで溶解したサンプル：サンプルと同量の Hi-Di ホルムアミド
- ・BigDye XTerminator で精製したサンプル：サンプルと同量の脱イオン水

3) プレートアセンブリの設置 《重要》

- ① 96well プレートにセプタをかぶせる。
セプタが浮いていないか確認
- ② 96well プレートをプレートベース(青)にはめ込み、浮いていないか確認
- ③ リテーナーの爪がかみ合うようプレートベース(青)にリテーナーをかぶせる。
- ④ リテーナー上から見てセプタの穴の位置を確認。
- ⑤ プレートベースを本体デッキの中央部フックにひっかけて置き、側面のフックもひっかける。



4) 解析モード

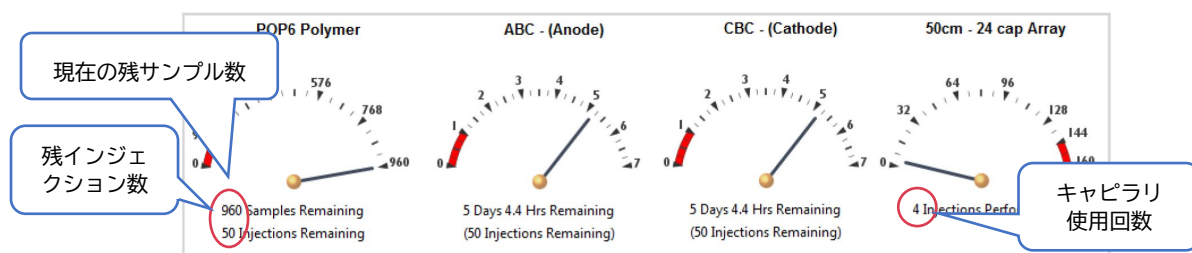
ポリマー開封後時間が経つと、Rapid、Fast、Short モードでエラーが発生しやすくなります。ポリマーを有効に使用するため、**Standard** で解析して下さい。

5) 本体の扉

しっかりと閉めてください。開きを検知されるとレーザーが止まります

6) 記録簿

使用開始時、使用記録簿に必要事項を記入して下さい。



7) データ

- ・ 使用者が設定を変更しない限り、シーケンスの結果は「Data」フォルダ(デスクトップ「Data-Shortcut」からアクセス可能)に保存されます。
- ・ 個人用のフォルダは作成しないで下さい。
- ・ 「Data」フォルダ中のシーケンス結果は約4ヶ月後に削除します
- ・ ウイルスチェック専用の PC で直前にウイルスチェックを行った USB メモリ、または CD-R/RW・DVD-R/RW にて持ち出して下さい。

8) 本体電源

キャピラリーがバッファに浸かっている事を確認してから電源を切ってください。

【その他】

- 1) 他の人が使用中に PC や本体を操作しないで下さい。
- 2) 前の使用者のサンプルが本体内部に残っている場合には、取り出して本体の横などに静置してからお使い下さい。
- 3) キャピラリーは160 回が上限とされていますが、約 30 万円と高価なため、Test Run で不良 data が出るかどうかを目安にしてキャピラリー交換を行っています。各自のサンプルで不良 data が出現した際はお知らせ下さい。

機器管理者: 病態液性制御学/佐藤/8062

共通機器室管理室: 浅尾/8165

brc@grp.tohoku.ac.jp